

平成29年第2回臨時会 鳴海町長 所信表明



平成29年第2回新冠町議会臨時会の開催にあたり、町長就任のご挨拶と町政運営に対する所信の一端を申し述べさせていただきます。

私は、4月23日に執行されました新冠町長選挙におきまして、当選の栄に浴し、5月1日付けをもちまして、町長に就任いたしました。私がこの場に立てますのは、多くの町民の皆様方からの熱い支持に加え、関係各位のご支援の賜物と心より感謝し、決意を新たにしております。

また、これまで新冠町を築いてこられた先人や諸先輩方のまちづくりへの思いを受け継ぎ、子や孫に引き継いでいく責任があるものと自覚しており、そのための施策を推進して参ります。

まちを存続するには、一定の人口が必要となります。そのためには多くの効果的な施策を同時に進め、相乗効果を図る必要があります。

自分達の子や孫が安心して住み続けられるまちにしたい。その思いを実現するため、これまでの行政や議員活動で培ってきた経験を生かし、郷土「いっかっぶ」の将来を元気でいきいきとした個性豊かな地域へと築くため、安心、安全な医療の提供、日々の新鮮な食品の買い物環境の実現を目指し、トップセールスとしてのブランド「いっかっぶ」を創り、第一次産業を中核とした産業の振興等々に全力で取り組んでいく覚悟であります。

風の影響により、堤防の決壊や樋門管理の不手際、小河川の未整備など住民との訴訟問題も生じているのが実態であります。

当町は地形的に丘陵地が多く、大雨による土砂流出と常に背中合わせにありますことから、道路、河川、農地などの維持管理を怠ることなく、適切な予算配分をすることこそ、被害を最小限に食い止める有効な手段と考えております。

新冠川浄水場地先にあつては、近年のゲリラ豪雨に鑑み、計画水位と満潮時における台風・高波と降雨量の独自調査を行い、現築堤高を検証し、高規格道路も視野に入れながら、河川管理者に対しかさ上げ改修の推進を図るよう積極的に働きかけるべきと考えております。

また、危険個所のリストを作成し、一定の予算配分をして町民の生命と財産を守るほか、自然災害を想定した新冠市街地も含めた町内全体のシミュレーションづくりを早急に取り進める必要があります。



昨年8月の台風被害

4 学校教育など、子育て

4点目は、学校教育及び子育て施策の充実についてであります。

1 国保診療所の有床化と健康増進

まず一点目は、国保診療所の入院病床の再開と町民の健康増進についてです。国保診療所は、一般会計からの繰出しの増加に加え医師や看護師など、医療スタッフの確保の難しさなどの理由から、平成27年12月をもって入院病床を休止しておりますが、この間、町民の皆さんからは、住民や医療関係者の意見が十分反映されていないことへの不満や入院環境の無い診療所に対する不安の声が多く寄せられております。

町民皆さんの不満や不安を早急に解消するため、入院病床の休止以降、町民の医療にどのような影響が生じているのかを早急に検証する必要があります。



国民健康保険診療所

今、日本の医療は、諸外国にない、かかりつけ医を中心とした地域医療へと変革を遂げようとしており、地域医療の重要性が改めて見直されておりますことから、近隣医療機関との連携の実態と将来展望も併せて検証し、町民の安心・安全のため、病床再開の実現に向け積極的に取り組んでまいります。

はじめに学校教育についてですが、町内に9校あつた小学校を2校に統合した背景には、複式学級の課題や問題を解消することになりました。

しかしながら、朝日小学校は児童数の減少により、今年度から、一部の学年において複式学級になることから、町が独自に教職員を確保し、これを回避しました。

しかしながら、今後、さらに複式学級が発生した場合、引き続き単式学級を維持していくためには、さらなる教職員の確保が必要でありますし、これに係る人件費の増大などの課題や問題点が多く残されておりますので、いち早くその課題や問題点を整理し対策を講じてまいります。

5 第一次産業の振興

次に子育て施策の充実についてですが、児童生徒の健やかな成長を後押しするとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため給食費の無料化に取り組むほか、通学や下宿などでかさむ出費の軽減を図るため、高校生の通学費などの支援を実施するほか、誕生祝金の贈呈、出産時緊急ハイヤー助成などの実施に取り組みます。



サラブレッドの牧場風景

5点目は、第一次産業の振興です。新冠町は農業を中心とした第一次産業の町であります。これからもこの形態は変わることはありませんし、今後とも、農業振興対策の充実を図ってま

また、診療所に併設されている特別養護老人ホーム恵寿荘の移転改築であります。昭和58年に建設した特別養護老人ホームは老朽化が著しく、また、東日本大震災以来、入所者の避難対策が不十分であり、浸水区域外への移転改築が求められておりますことから、早急に状況を調査し、改築に向けた取り組みを進めてまいります。



特別養護老人ホーム恵寿荘

町民の健康増進対策であります。自分の健康は自分で守るのが基本であり、町としても、町民の健康保持のため各種検診を実施し、受診を広く呼び掛けておりますが、受診率が上がっていないのが実態です。

このため、受診率向上対策の一つとして、町が実施する各種検診の無料化を実施し、疾病の早期発見・早期治療につなげ、ひいては医療費の抑制にもつなげていきたいと考えております。

現状での取り組みについて特に高い評価を受けている黒毛和牛、ピーマンについては新冠農業の基幹作目に進展しており、さらなる産地化への確立を目指して、生産者の意欲向上と経営安定化の為に全身全霊で振興策を推進してまいります。

また、担い手並びに新規就農対策の継続した充実を図るほか、子弟継承支援対策も併せて推進してまいります。

軽種馬対策では、150戸余りの生産者の困難な時代など歴史的な経過があります。関係者と連携し、販売対策事業の強化や強い馬づくりへの支援のほか、ホッカイドウ競馬をはじめとする地方競馬の活性化支援を継続してまいります。

3 防災対策
3点目は、防災対策についてです。防災対策は町民の生命と財産を守る安心・安全なまちづくりのスタートラインであります。

また、温泉効能を町民の健康増進に活かした取り組みとして、温泉無料入浴券をこれまでの75歳から70歳に引き下げ、枚数を36枚に増やすなどのほか、魅力あふれた温泉活用策を検討し、町民の健康増進に役立てたいと考えます。

2 生鮮食料品などの買い物対策
2点目は、生鮮食料品などの買い物対策についてであります。

農協ストアの廃止によって、特に生鮮食品においては、日常的に扱う店舗が無くなり、近隣町へ出向く事ができない高齢の皆さんを中心に多くの町民が困惑しております。

町民が生鮮食品や日用品を自ら見て選び、買う事のできるような施設整備を早急に構築すべきと考えております。

その一つとして大手スーパーによる車両での移動店舗の導入や、隣接町の大形店と連携した買い物ツアアの仕組みづくり、あるいは、物産館新冠市場の展開など、いろいろなシステムが考えられますが、まずは、「トップセールス」により、民間ストアなどの誘致をめざしてまいります。